



Title	燉煌出土漢藏對音の材料と韻鏡との比較（其一）
Author(s)	財津, 桃溪
Citation	懷徳. 1932, 10, p. 1-49
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88874
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

燉煌出土漢藏對音の材料と韻鏡との比較（其二）

一 緒 言

近時、漢字古音の研究が漸次學界の興味を惹くに至りしことは、喜ぶべき現象である。歐洲に於ては Pelliot 氏 Karlgren 氏等の敬服に値する研究の發表あり、支那に於ては、吳承仕、黃侃氏等の有益なる新研究が、將に其の功を收めんとして居る。然れども此等の研究は、多くは廣韻切韻等を基として成されたものであつて、少なくとも音標文字を以て記されたる材料を主として行はれたものではない。無論此等の材料によつての檢討が、非常に有益である事は、言を俟たざる所であるが、もし音標文字を以て記されたる古き確實なる材料があつて、これによつて其の結果を確かめ、その闕漏を補ふことが出来るならば、この企も亦意義あることといはねばならぬ。此の意味から見て、一九〇八年 Pelliot 氏によつて、燉煌の千佛洞から發見せられた、漢字と西藏文字とを對記して、その音を示したる千字文の斷片と、同じく Stein 氏によつて發見せられたる同様の金剛經、阿彌陀經の斷片とは、又と

得難き貴重なる材料と言はねばならぬ。千字文の斷片は羽田博士の發表によつて、その模様を知ることが出来るが、他の二種に至つては F. W. Thomas 氏等の手によつて、既に羅馬字に書換へられたのを *The Journal of the Royal Asiatic Society*, London (July 1926, April 1927, October 1927) 誌上に見ることを得るのみで、その寫眞の一行さへも見ることが出来ない。これは我々研究者にとつては遺憾千萬なことである。此等の材料は皆唐代のものであるといふことである。本來ならば、其の材料の研究が今少しく詳密に行はるべきであるが、三種の中二種は全然その倂さへも知ることが出来ないといふ有様なので、残念ながらこれは他日に譲らねばならぬ。その三種に於て、それ／＼重複せるものを比較し、且共通であるべき諸點に就いて注意を拂へば、多くの類似點を發見することが出來て、ほぼ同時代のものであることは推知せらるゝ。此等三種の材料中に含まるゝ文字の數は約八百である。字數多からざる憾はあるが、よく代表的の文字が網羅せられて居ることは研究上甚だ多くの便益を得る。一體ある國語の發音を他國の文字に因つて寫すといふことは、困難この上もないことで、如何に精確に寫し得たとするも、それは畢竟比較的事で、絶対にその通りにといふことは望むべくもない。子音に於てはかなり近いところまで寫されるかも知れないが、微妙なる韻尾に至つては、殆ど、不可能といつていゝかも知れぬ。ことにそれが、聲音學上の知識も無く、寫音上の工夫も積まれて居ない

古代の場合に於ては、尙更のことである。がそれかといつて決してこれを捨てる譯には行かない。それはその大體をこれによつて窺知して、更に本來の形を考へ、變化の迹を追ふことが出来るからである。私は今此等の材料と、時代の上から見てあまり遠く隔つて居ない韻鏡とを比較して、その異同を見たいと思ふ。それは此等三種の音が北方の訛音として斥け去るべきものであるかどうかの見當もつくし、又時代的地方的の差異も臆げながら見る事が出来るからである。

本論文に於ては未だ何等纏まつた結論を出さない。もし結論を急げば、何等かの形に於て、何等かのことを言ひ得るだらうけれども、これは余が漢字音研究―音標文字による―の一部たるに過ぎずして、未だこの僅少なる材料によつて、想像の部分多き結論を出す必要を認めないからである。

二本 論

(一) 韻鏡との比較

甲、頭 音

以下韻鏡の唇音、舌音、牙音、齒音、舌齒音の序に順ひ、各字母の下に、三種材料中の文字を配し

附するに廣韻の反切を以てして、その異同を検することとする。こゝに甚だ煩雜に堪へないのは、千字文と他の二種とが、その寫音法を異にする點である。もし三種の材料を悉く見ることが出来るならば、これを一致せしむることも、さまで困難なことではなく、且、其方が便宜も多い譯であるが、まだ見ぬ材料によつて之をなすは危険である。そこで、已むを得ず各發表者諸氏の寫音法を其儘に用ふることとする。又こゝに擧げたる反切は廣韻を主とし、類隔のものは磨光韻鏡の定むる所に従ふ。

唇音（字母のローマ字は主として大矢透氏の韻鏡考に従ふ。）

（1）幫母（p）に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
碑 5	pi	pu, p'u	pi pe	平支、彼	爲切	3	pei
彼 5				上紙、補	委切	3	pi
布 12			hphu	去暮、博	故切	1	pu
補 12	pai			上姥、博	古切	1	pu
杯 14	hai			平灰、布	回切	1	pei
背 14	pou			去隊、補	妹切	1	pei
本 18				上混、布	付切	1	pau

42	42	37	83	33	33	25	25	23	23	23
北	逼	不	百(伯)	井	兵	飽	賁	八	徧	邊
	piɕ		peɕ	pye	pe	baɔ				
		pu, p'u	piɕ					paɪ	pyan	pyan
		pu					peɪm			
入德、博	入職、彼	平尤、甫	入陌、博	平清、卑	平庚、補	上巧、博	上皓、博	入黠、博	去霰、卑	平先、卑
墨	側	鳩	陌	盈	明	巧	抱	拔	見	眠
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
1	3	3	2	4	3	2	1	2	4	4
pei, po	pi	pu	pai, po	ping	ping	pao	pao	pa	pien	pien

右に就いて見るに、背飽の二字が並母(b)に呼ばるゝと、補字が、hpを以て呼ばるゝことを除く外他は悉く(p)で、韻鏡の頭音と相一致して居る。背飽の二字中、背は蒲昧切の場合は(b)であるから、並母に呼ばるゝも無理ではない。補字の現代音は pu である。而してこれ等材料中 p の頭音を有するものは、今日なほ p を以て残つて居り、hp のものは、今日では f 又は w に變つて居る。(下表参照)。さすれば、今日 p を以て残つて居る點、及び補字を反切の父字とする文字が p をその頭音として居る

點等を併せ考ふれば、恐らく補字も亦 p を以て正音とし、之を訛して hp の如く呼ばれたものであるまいか。

(2) 滂母 (p') に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
33 28 4	烹(磅) 頗 譬	pha phe	p'yi	上眞、西 平戈、滂 平庚、普	賜切 禾切 庚切	4 1 1	p'i p'o p'eng

(3) 並母 (b) に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
13 32 6 6 4	陸 傍 比(毗) 枇 疲(皮)	bei bo bi b= be	byi	平支、蒲 平脂、步 平脂、頻 平唐、步 上齊、傍	糜切 脂切 脂切 光切 禮切	3 4 4 1 4	p'i p'i p'i pang, p'ang pi

韻鏡並母に屬するものは皆(b)を以て寫されて居る。而して此等は後世に至りては(p)又は(p')となつて居る。反切の父字の表中に見ゆるものは皆その頭音は(b)である。

(4) 明母(m)に屬する文字

24	12	33	29	15	14	24
跋	菩(蒲)	白	杷	弊	陪(裴)	弁(丕)
			ba	bei	ba'i	byan
		big				
	ba					
bad						
入未、蒲	平模、薄	入陌、傍	平麻、蒲	去祭、毗	平灰、薄	去線、皮
撥切	胡切	陌切	巴切	祭切	回切	變切
1	1	2	2	4	1	3
po	pu	pai	pa	pi	pei	pian

21	17	37	1	轉				
滅	蜜	茂	睦					
'byar	'bir	'ba	bug(?)	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切
入薛、亡	入質、彌	去候、莫	入屋、莫					
列切	畢切	侯切	六切					
4	4	1	3	等位				
mieh	mi	mao	mu	現代音				

35	33	33	33	31	23	23	21	21	26	37	28	6	1	28	42	3	18
銘(冥)	孟	盟(明)	明	邛(汪)	眠	勉	綿	面	妙	牟	磨(摩)	寐	日	摩	默(墨)	逆	門
ne	man	men	men	mo	myan	myan	myen	myan			ba	bi	'bing	'ba	'bng	'byag	'bun
										hbu							
										hbychu	ba						
平青、 莫	去諍、 莫	平清、 眉	平清、 眉	平唐、 莫	平先、 莫	上彌、 亡	平先、 彌	去綠、 彌	去笑、 彌	平尤、 莫	平戈、 莫	去至、 彌	入屋、 莫	平戈、 莫	入德、 莫	入覺、 莫	平魂、 莫
經	更	兵	兵	郎	賢	辨	延	箭	笑	浮	婆	二	六	婆	北	角	本
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
4	2	3	3	1	4	3	4	4	4	3	1	4	3	1	1	2	1
ming	meng	meng	ming	mang	mien	mien	mien	mien	miao	mou	mo	mei	mu	mo	mo	mo	men

33	3	33
命	貌(邈)	名
$\left\{ \begin{array}{l} \text{mye} \\ \text{myi} \\ \text{meg} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{myag} \\ \text{hmyeg} \end{array} \right\}$		
$\left\{ \begin{array}{l} \text{me} \\ \text{mi} \\ \text{men} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{mi} \\ \text{min} \\ \text{myi} \end{array} \right\}$ $\left\{ \begin{array}{l} \text{myag} \\ \text{men} \\ \text{min} \end{array} \right\}$		
去敬、眉	入覺、莫	平清、彌
病切	角切	井切
5	2	4
ming	miao	ming

右、舉ぐる所に據りて見れば、羽田博士の(1)(2)は西藏字の語頭語尾に Das 氏の用ふる h、發音は英語の hour, honour, 等の h に當る。) Thomas 氏の (hb) によつて表はさるゝ文字と、m によつて表はさるゝ文字とが、韻鏡の明母即ち m に屬することに氣附く。これ等は現時の北京音に於ては皆 m を以て示さるゝこと上記の通りである。

(5) 非母(f)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
20 分	bun	hbun p'un		平文、府文	切	3	fen
20 弗	phur		hbur	入物、勿	切	3	fu
41 法	phab	p'ab	p'ab	入乏、方	切	3	fa
22 發(髮)		p'ar h'par	h'phad h'phad h'phyl h'phyl	入月、方	切	3	fa
10 非(斐)		pyi		平微、甫微	切	3	fei

1	31
福	方
pus	thvyan
入職、方	平陽、府
六	良
切	切
3	3
fu	fang

此類に屬するものは、西藏文字を以ての譯出區々にして一定せぬが、大體に於ては $ph'p'$ を以て示さるるものが韻鏡に於て非母 (f) となつて居る。

(6) 敷母(f')に屬する文字

轉		1
千字文	覆(瓠)	
金剛經		
阿彌陀經	hphu	
反	入屋、芳	
切	福	
等位	3	
現代音	ɛ	

(7)奉母(V)に屬する文字

轉				
千 字 文	婦	漬(汾)	肥	煩
金剛經	bū	bun	pī	ban
阿彌陀經				huan
反切	上有、房久切	平文、符文切	平微、符非切	平元、附袁切
等位	3	3	3	3
現代音	fū	fən	fei	fən

三種材料中の b を以て示さるゝものが、韻鏡に於ては v となつて居る。其他の例は極めて少數である。

(8) 微母(Vⁿ)に屬する文字

12	37	41	1	1	20	23
扶(符)	阜(婦)	梵	復(伏)	伏	佛	飯
phu	phu				ban	
			hbug	bug	bur	
		ban			hbur	
平虞、防無切	上有、房久切	去梵、扶泛切	入屋、房六切	入屋、房六切	入物、符弗切	上阮、扶晚切
3	3	3	3	3	3	3
ɛ	ɛ, fou	lan	ɛ	ɛ	lo	ɛ

22	12	20	10	轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	等位	現代音
晚	務	勿	微		'byi			平微、無非切	3	wei
					'bur			入物、文弗切	3	wu
					'bu			去遇、亡遇切	3	wu
					'ban			上阮、無遠切	3	wan

31	12	22
網	無	萬
hban hban hbu		
hbyan		
上養、 文	平虞、 武	去願、 無
兩	夫	販
切	切	切
3	3	3
wang	wu	wan

此類に入るものは b 及 hb のものである。以上挙げたる諸例を概括すれば大體に於て、次の如くすることが出来る。

三種—韻鏡—現代

三種—韻鏡—現代

幫 p ↓ p ↓ p

非 p, 'ph ↓ f ↓ f (異例稍々多し)

滂 p', ph ↓ p' ↓ p'

敷 hp ↓ f' ↓ f (一例)

並 b ↓ b ↓ p, p'

奉 b, hb, ph ↓ v ↓ f (大部分は b)

明 hb, 'b, m ↓ m ↓ m

微 hb, 'b ↓ vⁿ ↓ w

此等の場合に於ての hb の h が、hg の場合の h の如く、一種の鼻音(疑母の條参照)であるか如何か、私は今明確なる斷案を下し得ないのであるが、hb が m となり、vⁿ となるといふが如き事實は、何等か

の暗示を與へてくれるものといはねばならぬ。

舌音

(1) 端母(t)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
1	東	ton	ton	平東、德	紅切	1	tung
23	顛	yan	ten	平先、都	年切	4	tien
27	多	ta	ta(da)	平歌、得	何切	1	to
31	當	tan		平唐、都	郎切	1	tang
40	擔	tam		平談、都	甘切	1	tan
42	燈	tin	teng, tin	平登、都	膝切	1	teng
42	等	tin	tin	上等、多	肯切	1	teng
42	德	tig	tig	入德、多	則切	1	te
23	典	ten		去鎗、多	珍切	4	tien
23	丹	tan		平寒、都	寒切	1	tan
39	耽	tan		平覃、丁	含切	1	tan
18	敦	ton		平魂、都	昆切	1	ton

23	35	35	18	25	14
旦	嫡	的	頓	倒	對
dan	dig	dig	don		twai
				tehu	
去 翰、 得	入 錫、 都	入 錫、 都	去 恩、 都	上 皓、 都	去 隊、 都
案	歷	歷	昆	皓	隊
切	切	切	切	切	切
1	4	4	1	1	1
tan	ɿ	ɿ	ɿn	tao	ɿ

大多數は韻鏡と一致するのであるが、最後に列したる四字が(d)を以て寫されて居る。

(2) 透母(t)に屬する文字

40	23	17	27	14	12	轉
塔 (楊)	歎	天	他	退	土	
				thwa'i	tho	千字文
tab		ten	tah		do	金剛經
	than	then	thve	tho		阿彌陀經
入 盞、 吐	去 翰、 他	平 先、 他	平 歌、 託	去 隊、 他	上 姥、 他	反
盞	丹	前	何	內	魯	切
切	切	切	切	切	切	等位
1	1	4	1	1	1	現代音
tsa	tan	t'ien	t'a	t'ui	tu	

金剛經の土(do)の外、皆t'lhを以て寫されて居る。

(3) 定母(d)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
1	動	don		上董、徒	招切	1	tung
I	洞	don		去送、徒	弄切	1	tung
1	桐	don		平東、徒	紅切	1	tung
1	獨(讀)	dog		入屋、徒	谷切	1	tu, tou
12	杜	do		上姥、徒	故切	1	tu
13	弟		de	上齊、徒	禮切	4	ti
15	大		dehi	去泰、徒	蓋切	1	ta
23	達	dar	h dar	入曷、唐	割切	1	ta
23	田	dya(n) ?		平先、徒	年切	4	tien
25	道		dehu	上晴、徒	皓切	1	tao
13	殆(駘)	dai		上海、徒	亥切	1	lai
37	投(頭)	da'u		平尤、度	侯切	1	lau
35	庭	de		平青、特	丁切	4	ting
12	塗(徒)	do		平虞、同	都切	1	tu
23	但		tan	上旱、徒	旱切	1	tan

(4) 泥母(n)に屬する文字

13	12	12	27
岱	圖	度	施(駝)
dai	duo		
		do	
			hda
去代、徒	平虞、同	去暮、徒	平歌、徒
耐	都	故	何
切	切	切	切
4	1	1	1
ta	tu	u	lo

13	42	39	39	39	31	27	25	23	2
乃	能	納	念	南	囊	那	腦(惱)	難	農
		dab		nām	no			hon	
				nām		hdah			
				nām		hdehu		hdan	
				nem					
上海、奴	平登、奴	入合、奴	去祿、奴	平覃、那	平唐、奴	平歌、諸	上皓、奴	平寒、那	平冬、奴
亥	登	答	店	告	當	何	皓	干	冬
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
nai	neeg	na	nien	nan	naang	na	nao	nan	nung neeng

轉

千字文

金剛經

阿彌陀經

反

切

等位

現代音

(6) 徹母(ㄊ)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
42 37 2	勅 抽 寵			上腫、丑 平尤、丑 入職、恥	切	3 3 3	ch,ang cheu ch'iu
	chun cheu chig			力 鳩 離	切		
				切			

この類ははゞ齒音穿母と同様である。

(7) 澄母(ㄊ)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
8 33 42 31 31 8 3	持(治) 宅 直 著 長 治 濁			入覺、直 平之、直 平陽、直	切	2 3 3 3 3 3 2	cho chih, cheih chang cho chih chai, chà ch'ih
	ji jeg jeg			之 伯 力 略 頁 之 角	切		
		jag jan, zan jan	jag jan	切			

治はdsの頭音を有して居るが、その字子たる持はjである。治字を除く外すべてjを以て寫されてゐる。

(8) 孃母(n)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
6 尼				平脂、女	切	3	ni
11 女		hai	hi	上語、尼	切	3	hi

牙音

(1) 見母(k)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
23 見	kyan	kyen	kyen	去聲、古	切	4	chien

31 腸	4 馳	8 值
io	ji	ji
		ji
平陽、直	平支、直	去志、直
良	離	吏
切	切	切
3	3	3
chang	chih	chih

28	27	25	23	17	17	13	11	9	7	6	2	2	2	1	1	1	1
果	歌	高	堅	巾	根	雞	居	機	記	飢	告	供	恭	穀	公	貢	功
	ka'	k'eu	kyan	ken		k'ye	ki	ki		ki				kog	kon	kon	ko ?
kva					kin			kehi		kehu	kun	kun					kon
																	kon
上果、古	平歌、古	平豪、古	平先、古	平眞、居	平痕、古	平齊、古	平魚、九	平婚、居	去志、居	平脂、居	入沃、古	去用、居	平鍾、九	入屋、古	平東、古	去送、古	平東、古
火切	俄切	勞切	賢切	銀切	痕切	奚切	魚切	依切	吏切	夷切	沃切	容切	容切	祿切	紅切	透切	紅切
1	1	1	4	3	1	4	3	3	3	3	1	3	3	1	1	1	1
kuo	ko	kao	chien	chin	ken	chi	chi	chi	chi	chi	kao	kung	kung	ku	kung	kung	kung

29	12	34	24	24	21	11	20	40	38	18	38	19	24	23	29	29	28
駕	俱	狻	觀	冠(官)	間	舉	軍(君)	劫	給	鷓	禽	謹	卷	肩	稼	嘉	過
ga		kweg	kwan	kwan		ku'u	ku(n) ?	keb	keub	kon	k(i)m ? g(i)m ?	kim			ka	ka'	
					kyen			keb									kva
	ku				ken			gab, kab				kyon	kyen				
去禡、 古	平虞、 舉	入陌、 郭	平桓、 古	平桓、 古	平山、 古	上語、 居	平文、 舉	入業、 去	入緝、 居	平魂、 古	平侵、 巨	上隱、 居	上猶、 居	平先、 古	去褐、 古	平麻、 古	去過、 古
訝	朱	獲	丸	丸	閑	許	云	劫	立	渾	今	隱	轉	賢	訝	雅	臥
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
2	3	2	1	1	2	3	3	3	3	1	3	3	3	4	2	2	4
chia	chiü	kuo	kuan	kuan	chien	chiü	chiün	chieh	chi,kei	k'un	ch'in	chin	chiän	chien	chia	chia	kuo

13	13	40	33	33	38	5	33	33	32	32	31	29	37	12	9	25	3
階	皆	甲	京	驚	今	經	敬	更	光	廣	各	假	九 (久)	故	既	嬌	絳
kei		kab	ke	ken				ken				ga	gu'u	go	gi	ga'u	gan
	kehi				kim	kyan, kyen kyin	ken		kvan					ko			
	ge, ke				kim	gyi, kyi			kvan	kag				ko			
平皆、 古	平皆、 古	入狎、 古	平庚、 舉	平庚、 舉	平侵、 居	平青、 古	去敬、 居	平庚、 古	平唐、 古	上蕩、 古	入鐸、 古	去禡、 古	上有、 舉	去暮、 古	去未、 居	上小、 居	去絳、 古
諧切	諧切	狎切	卿切	卿切	吟切	靈切	慶切	行切	黃切	晃切	落切	訝切	有切	暮切	殺切	大切	巷切
2	2	2	3	3	3	4	2	2	1	1	1	2	3	1	3	3	2
chieh	chieh	chia	ching	ching	chin	ching	ching	keng, ching	kuang	kuang	ko	chia	chiu	ku	chi	chiao	chiang

13	40
界(誠)	國
ke	kog
去怪、古拜切	入德、古或切
4	1
chieh	kuo

大體韻鏡と一致するのであるが、gを以て表はさるゝもの及gk兩方を存するものがある。

(2) 溪母(k')に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
1	空	k'on		平東、苦	紅切	1	k'ung
1	孔	khon		上董、康	董切	1	ku'ng
2	曲	khwag		入燭、丘	玉切	3	ch'it
11	去	ki	k'he	上語、羌	舉切	3	ch'it
27	可		kha	上寄、枯	我切	1	ko
33	輕	kh'ye		平清、去	盈切	4	ch'ing
37	丘		h'khyeha	平尤、去	陽切	3	ch'iu
8	起	kh'i		上止、墟	里切	3	ch'i
42	刻	kh'eg		入德、苦	得切	1	ko
4	綺	kh'i		上紙、墟	彼切	3	chi

39	22	37	31	27	25	21	13	13	13	12	32	31
謙	勸	口	康(棟)	軻	藁	造(譚)	稽	啓	溪	驅	曠	杭(抗)
khyan	khwan	khao	khan	kha	ke'u	khyan	khye	khye	khya'i	khu	kho	kho
平添、苦	去願、去	上厚、苦	平唐、苦	上哥、枯	上小、祛	去線、去	上齊、康	上齊、康	平齊、苦	去遇、區	去宕、苦	去宕、苦
兼切	願切	后切	岡切	我切	嬌切	戰切	禮切	禮切	溪切	遇切	謗切	混切
4	3	1	1	1	3	4	4	4	4	3	1	1
chien	chian	k'ou	k'ang	k'o	kao	chien	chi	chi	chi, hsi	chi	{k'uang kung}	hang

此類のものは、殆すべてk'又はkhを以て寫されて居る。

(3) 群母(g)に屬する文字

轉	千 字 文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現 代 音
4	祇	gyi	gi	平支、翹	移切	4	ch'i, chih
8	其	gi	gi	平之、渠	之切	3	ch'i, chi
20	群	gun		平文、渠	云切	3	ch'in
32	狂		gan	去漾、渠	放切	3	kuang
37	舊	gi.....		去宥、巨	救切	3	chiu
11	鉅	gi..... (?)		去語、其	呂切	3	chiu
42	極	gi.g	gi.g	入職、渠	力切	3	chi
37	求	gin		平尤、巨	鳩切	3	chiu
38	及		gib	入緝、其	立切	3	chi
11	渠	gu		平魚、強	魚切	3	chü
12	具	gu		去遇、其	遇切	3	chü
20	郡	gwin	gu	去問、渠	逕切	3	chün
38	禽	g(i)m (?) k(i)m (?)		平侵、巨	今切	3	ch'in

(4) 疑母(ng)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
義	'si	hgih	si	平支、角	切	3	i
儀	'si			同上		3	i
嶽	'sɔs			入覺、五	切	2	yüeh
疑	'nɔ	hgin		平之、語	切	3	i
銀	'si			平眞、語	去	3	yin
寓	'nɔ			去遇、牛	切	3	yü
梧	'nɔ			平模、五	切	1	wu
藝	'sɛi			去祭、魚	切	4	i
外	'nɔ			去泰、五	切	1	wai
御	'nɔ			去御、牛	切	3	yü
鴈	'nɔ			去諫、五	切	2	yen
翫	'nɔ			平換、五	切	1	wan
〔嚴〕	'nɔ			平銜、五	切	2	yen

13	4	11	21	21	27	33	40	40	12
礙	議	語	眼	言	我	逆	業	嚴	五
	hgi		hgen	hgen	hgen	hgis	hgeb	hgem	
hgi	hgi	hgi		hgen				hgem	hgo
去代、 五	去真、 宜	上語、 魚	上產、 五	平元、 語	上駕、 五	入陌、 宜	入業、 魚	平嚴、 語	上姥、 疑
漑	寄	巨	限	軒	可	戟	怯	戟	古
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
1	3	3	2	3	1	3	3	3	1
ai	i	ye	yen	yen	wo	hi	yeh	yen	vu

此母に属するものは、羽田博士の(1)、Thomas 氏の h₂ を語頭に有して居る。此場合に於て h₂ は一種の鼻音であると考へらる。

齒音

(1) (精母(ts)に属する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
18 31 23 42 23 42 40 25 42 33 31 8 8 4 2 2	尊 將 讚 稷(即) 節 增 接 糟 則 精 作 子 妓 紫 足 宗	tsɔn tsuŋ tsi tsi tsi tsi tsye	tsiŋ tsɛ tsi tsi tsi tsi tsi	tsan tsɛ tsi tsi tsi tsi tsi	平清、祖 渾切 1	4	tsun
				平陽、即 渾切 1	4	chiang	
				去翰、則 切 1	4	tsan	
				入職、子 切 4	4	chi	
				入屑、子 切 4	4	chieh	
				平登、作 切 1	4	tsəŋ	
				入葉、即 切 4	4	chieh	
				平豪、作 切 1	4	ts'ao	
				入德、子 切 1	4	tsə	
				平清、子 切 4	4	ching	
				入鐸、則 切 1	4	ts'o	
				上止、即 切 4	4	tsu	
				平之、子 切 4	4	tsi	
				上紙、將 切 4	4	tsi	
				入燭、即 切 4	4	tsu	
				平冬、作 切 1	4	tsung	

此類に屬するものは、大部分ts'を以て寫されて居るが、約三分の一はdsである。

(2) 清母(ts')に屬する文字

27	27	37	12	17	17	37	15	13	13	13	21	13	18
佐	左	酒	祖(組)	進	晋	奏	祭	宰	載	再	翦	爵	遵
dsai'	dsa	dsai'u	dsai'o		dsin	dsai'u	dsai'	dsai'	dsai'	shai	tsyan	tsyag	tsun
tsin													
去箇、則	上智、臧	上有、子	上姥、則	去震、即	去震、即	去侯、則	去葉、子	上海、作	去代、作	去代、作	上猶、即	入藥、即	平諄、將
箇	可	酉	古	及	及	侯	例	亥	代	代	淺	略	倫
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
1	1	4	1	4	4	1	4	1	1	1	4	4	4
ts'o	ts'o	chiu	tsu	chin	chin	tsou	chi	tsai	tsai	tsai	chien	chiieh chiao	tsun

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
4	此	ts'ɿ	hshɿ (hchɿ) ts'ɿr	上紙、雌 氏切	4	ts'ɿ	ts'ɿ
17	七			入質、親 吉切	4	ch'ɿ	ch'ɿ
6	次	ts'ɿ		去玉、七 四切	4	ts'ɿ	ts'ɿ
23	切			入屑、干 結切	4	ch'ɿeh	ch'ɿeh
13	切	ts'eh (ts'eh) ts'eh	ts'eh	去霽、七 計切	4	ch'ɿeh	ch'ɿeh
29	且	ts'ɿa		上馬、七 也切	4	ch'ɿeh	ch'ɿeh
35	戚(感)	ts'ɿg		入錫、倉 歷切	4	ch'ɿ	ch'ɿ
40	妾	ts'ɿab		入業、即 葉切	4	ch'ɿeh	ch'ɿeh
23	干	ts'ɿan	ts'eh	平仙、蒼 先切	4	ch'ɿen	ch'ɿen
25	操	ts'eh		平豪、七 刀切	1	ts'ao	ts'ao
17	親	ts'ɿin		平眞、七 人切	4	ch'ɿin	ch'ɿin
7	翠	ts'ɿwe(?)		去至、七 醉切	4	ts'ui	ts'ui
35	青	ts'ɿ		平青、倉 經切	4	ch'ɿing	ch'ɿing

たゞ一、二字の例外はあるが、他はすべてts'又はts'で寫されて居る。

(3) 從母(dz)に屬する文字

轉	千 字 文	金 剛 經	阿 彌 陀 經	反	等 位	現 代 音
6	自	dze	dze	去至、疾二切	4	tzu
13	在	dze	dze	上海、昨宰切	1	tsai
14	罪	dze	dze	上賄、徂罪切	1	tsui
21	賤	dzen	dzen	去線、才線切	4	tsien
23	前	dzen	dzen	平先、昨先切	4	chien
33	淨	dzen	dzen	去勁、疾政切	4	ching
37	就	dzen	dzen	去宥、疾就切	4	chiu
39	雜	dzen	dzen	入合、徂合切	1	chi
38	集	dzen	dzen	入緝、秦入切	4	chi
31	墻	dzen	dzen	平陽、左良切	4	chiang
33	情	dzen	dzen	平清、疾盈切	4	ching
35	寂	dzen	dzen	入錫、前歷切	4	chi
21	踐	dzen	dzen	上彌、慈演切	4	chien

千字文は從母を寫すにdsを以てしてあるが、他は皆dzである。

(4) 心母(s)に屬する文字

轉		千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
42	僧		sī	sī	平登、蘇	增切	1	sêng
40	三		sān	sām	平談、蘇	切	1	san
38	心	sīn	sīm	sīm	平侵、息	切	4	hsin
35	星	syē			平青、桑	切	4	hsing
31	相(箱)	syō		syān	平陽、息	切	4	hsiang
29	[寫]婆	syā		sa	上馬、悉	切	4	hsteh
37					平歌、素	切	1	so
26	小		sehu		上小、私	切	4	hsiao
24	算		svan	svān	上緩、蘇	切	1	suan
23	散	sān	sān		去翰、蘇	切	1	san
18	[笋]悉	sun			上準、思	切	4	sun
17	信		sir		入質、息	切	4	hsi
17	須		sīn	sīn	去震、息	切	4	hsin
12	思		si	si	平虞、相	切	4	hsü
6			si	si	平之、息	切	4	ssi
6	四				去至、息	切	4	ssi

(5) 邪母(z)に屬する文字

5	轉	千 字 文	金 剛 經	阿 彌 陀 經	反	等 位	現 代 音					
隨	su'i				平 支、旬 爲 切	4	sui					
13	26	26	31	12	17	6	13	31	37	3	6	21
四	消	造(宵)	顙	素(訴)	新(率)	肆(四)	塞(賽)	索	脩	宿	私	仙
sye		sya'u	so	so	sin	si	sai	sag		ci	syau(?)	
	selu								sihu			
se									sihu	sug		
平 齊、先	同 上	平 宵、相	上 蕩、蘇	去 暮、桑	平 眞、息	去 至、息	去 代、先	入 鐸、蘇	平 尤、息	入 屋、息	平 脂、息	平 先、相
稽 切		邀 切	朗 切	故 切	鄰 切	利 切	代 切	各 切	流 切	逐 切	夷 切	然 切
4	4	4	1	1	4	4	1	1	4	4	4	4
hsi	hsiao	hsiao	sang	su,so	hsin	sai	sai	so	hsin	su, hsi	chih	hsian

此類に屬するものはすべて清音を以て寫され韻鏡と異つて居る。

(6) 照母 (二等) (三等) (四等) に屬する文字

31	23	2	37	8	8	38	29
〔象〕	夕(席)	續	岫	嗣(寺)	祀(似)	尋	謝
sy'o'o	syig	swag	s(i'u?)	si	si	syim	sy'a
上養、徐	入昔、祥	入燭、似	去宥、似	去志、祥	上止、詳	平隻、徐	入褐、辭
兩切	易切	足切	祐切	吏切	里切	林切	夜切
4	4	4	4	4	4	4	4
hsiang	hsi	hsi	hsin	ssü	ssü	hsin, hsin	hsieh

6	2	1	1	轉
至	鍾	衆	終	
	cun			千字文
ci		cun		金剛經
		cun	chun	阿彌陀經
去至、脂	平鍾、職	去送、之	平東、職	反
利切	容切	中切	戎切	切
3	3	3	3	等位
chih	chung	chung	chung	現代音

終はchであるが他は眞執の二字を除く外舌頭知母と同様の寫し方である。

(7) 穿母^(二等)_(三等) (ch) に屬する文字

38	31	17	42	29	25	11	8
執	障	眞	蒸	者	照	諸	之
cin							
tsin							
jib	cin	ca		chu	ci	ci	ci
入緝、之	去漾、之	平眞、仄	平蒸、煮	上馬、章	去笑、之	平魚、章	平之、止
入	亮	鄰	仍	也	少	魚	而
切	切	切	切	切	切	切	切
3	3	3	3	3	3	3	3
chin	chang	chen	cheng	che	chao	chu	chih

35	18	11	5	轉
策	出	楚	吹	
cheg	chi	chu		千字文
				金剛經
chur				阿彌陀經
入麥、楚	入術、赤	上語、創	平支、昌	反
革	律	舉	垂	切
切	切	切	切	等位
3	3	3	3	現代音
ts'ə	ch'u	ch'u	ch'ui	

床がchで寫されて居る外、他は皆shである。

(9) 審母(二等)(三等)に屬する文字

23	舌
	入唇、食
	列
	切
3	shē

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
4 施		si	si	平支式	支切	3	shih
6 師				平脂、疏夷	夷切	2	shih
11 疎				平魚、所難	難切	2	su
11 所		sehi sa suh si su	si sc su	上語、疎舉	舉切	2	so
15 世		se		去祭、舒制	制切	3	shih
21 山		san		平山、所問	問切	2	shan
25 小		shu		上小、書沼	沼切	3	shao
29 舍		sa, sar		去褐、始	始切	3	shē
85 聲		sen		平清、式	式切	3	shēng
35 聖		sen		去勁、式	式切	3	shēng

35	14	35	22	31	31	37	42	11	11	37	42	33	23	29	42	42
釋	稅	適	宣	觴(商)	賞	守(狩)	稽	黍(暑)	庶(恕)	手(首)	昇(升)	笙(生)	設	沙(熬)	勝	色
	çwe'i	çie	swan	o	o	ç'i'u	çie	çi	çi(?)	çeu	çeu	çe	çar	çə		
su、																
sa、														sin、 sɿ、		
入青、 施	去祭、 舒	入青、 施	平仙、 須	平陽、 式	上養、 書	去宥、 舒	入職、 所	去御、 舒	去御、 商	上有、 書	平蒸、 識	平庚、 所	入設、 式	平麻、 所	去證、 詩	入職、 所
隻	芮	隻	緣	用	兩	救	力	兄	書	九	蒸	京	列	加	證	力
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	2	3	2
shih	shui	ti, shih	hsian	shang	shang	shou	chi	shu	shu	shou	sheng	sheng	shé	sha	sheng	se

殆ど、牀母の寫し方と區別がない。

(10) 禪母(z')に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
4 是	gwi	si	se	上紙、承	紙切	3	shih
7 誰	gwi			平脂、視	佳切	3	shui
8 時	gi	ji	ji	平之、市	之切	3	shih
8 持			su	去志、時	吏切	3	ch'ih
12 樹				去遇、常	句切	3	shu
23 善		san		上彌、常	演切	3	shan
31 上		san		上養、時	掌切	3	shang
35 成		sen	sen	平清、是	征切	3	ch'eng
37 受		sin	shu	上有、殖	酉切	3	shou
38 甚			sim	上廢、常	枕切	3	shen
42 承	gen	sin		平蒸、署	陵切	3	ch'eng
8 市	ci			上止、時	止切	3	shih
23 禪	can			去線、時	戰切	3	{ch'an, shan}

此類に屬するものも、韻鏡の音と異り前二者と同様に發音せられたものらしい。

喉音

(1) 影母(a)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	等位	現代音
27 阿	a	'a 'an	'a 'an, 'at-	平歌、烏	1	a'o
6 伊	yi			平脂、玄	4	i
8 意		yi	yi	去志、於	3	i
8 一		yi 'it		入質、於	4	i
10 威	ei			平微、於	3	wel

23 膳	c'an			同上	4	shan
42 塞	c'at			入職、常	3	shin
1 熟	c'ut			入屋、殊	3	shu
38 十		sin	sib	入緝、是	3	shih
35 信		sin	sin	平清、是	3	hsin
				征執		
				切切		

(2) 曉母(h)に屬する文字

8	轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反切	等位	現代音
喜				hi	上止、虞里切	3	hsi

13	23	10	40	33	33	42	42	38	31	26	17	11
翳	燕(宴)	畏	厭	英	纓	憶(億)	應	音	惡	要	因	於
yei	yan	u(?)i(?)	em	e	e							u
						ig	in		ag	ye <u>h</u> u		hi
							im				in	u,i
去聲、於計切	去聲、於甸切	去未、於胃切	去艷、於艷切	平清、於驚切	去勁、於政切	入職、於力切	去證、於證切	平侵、於金切	入鐸、烏各切	去笑、於笑切	平眞、於眞切	平魚、央居切
4	4	3	4	3	4	3	3	3	1	4	4	3
i	yen	wei	yen	ying	ying	i	ying	yin	o,wu	ya <u>o</u>	yin	yü

(3) 匣母(g)に屬する文字

25	11	31	24	23	9
好	虛	香	歡	漢	希
ha'u			hwan	han	
	he'ü	han			
		han	hvan	han	hi
上皓、呼	平魚、朽	平陽、許	平桓、呼	去翰、呼	平微、香
皓切	居切	良切	官切	肝切	衣切
1	1	3	1	1	3
hao	hsi	hsiang	huan	han	hsi

27	21	3	42	33	30	27	27	轉
河	閑	降	恒	行	華	荷	何	
	han							千字文
	ha	h'en	hin		hva	ha	hah	金剛經
			hin	hhe	hva	ha	ha	阿彌陀經
平歌、胡	平山、月	平江、下	平登、胡	平庚、月	平麻、月	上歌、胡	平歌、胡	反
歌切	間切	江切	登切	庚切	花切	下切	歌切	切
1	2	2	1	2	2	1	1	等位
ho	hsien	{chiang hsiang}	heng	hsing	hua	ho	ho	現代音

12	29	25	15	39	35	21	34	24	14	32	14	16	43	37	12	23
護	下	號	解	俠	刑	〔絃〕 (吝)	橫	桓	廻 (回)	煌	惠	會	或	後 (厚)	狐 (胡)	韓
				hyab	hye	hyan	hwe'e	hwa'n	hwa'i	ho	...e.....	hwa'i		ha'o		han
			hehi, ka										hog	hihu	ho	
	ha		hehu									hve				
去暮、 胡	上馬、 胡	去號、 胡	上蟹、 胡	入帖、 胡	平青、 戶	平先、 胡	平庚、 胡	平桓、 胡	平灰、 戶	平庚、 胡	去霽、 胡	去泰、 黃	入德、 胡	上厚、 胡	平模、 戶	平寒、 胡
誤	雅	到	買	頰	經	涓	觥	官	怪	光	桂	外	國	口	吳	安
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
1	2	1	2	4	4	4	2	1	1	1	4	1	1	1	1	1
hu	hsia	hao	{chieh hsieh}	chia	hsing	hsian	heng	huan	hui	huang	hui	hui	huo	hao	hu	han

23	現		hyen	去緩、胡	旬	切	4	Isien
----	---	--	------	------	---	---	---	-------

上例に見るが如く、曉母と匣母との間に全く區別がない。

(4) 喻母(y)(w)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
29 也	yun			去用、余	切	4	yung
29 野				入燭、余	切	4	yü
26 遙	ya			平支、于哀	切	3	wei
24 員	ya'u			去眞、羊	切	4	i
22 遠	'win	hu	yü	上止	切	4	yin
32 王	'on ?	hu, hun	hun	上準、余	切	4	yün
20 云		hun	wan, hyan	平文、王	切	3	yün
18 伊	'win			平陽、兩	切	3	wang
8 以				上阮、兩	切	3	yan
5 爲				平仙、王	切	3	yan
2 欲				平宵、餘	切	4	yao
2 用				上馬、羊	切	4	yeh
		ya		同 上	切	4	yeh

37	33	8	26	33	32	12	22	11	22	10	22	20	37	11	40	34	31
攸(由)	易(釋)	貽(餽)	飪	楹(盈)	往	喻(裕)	緣	譽	垣	煒	悅	運	由	興	猷	營	養
y'io	y'ig	yi	ye'u	y'en			ye(?)		'wen	we	war	'un			we		
						yu							yihw	yi			yan
						h'vyan	yvan							yi, yu	yam		
平尤、以	入昔、羊	平之、與	平宵、餘	平清、以	上養、于	去遇、羊	平仙、與	去御、羊	平元、雨	上尾、于	入薛、弋	去問、王	平尤、以	上語、余	去豔、以	平清、余	上養、餘
周切	益切	之切	昭切	成切	兩切	戌切	專切	洳切	元切	鬼切	雪切	問切	周切	呂切	瞻切	傾切	兩切
4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	4	3	4	4	4	4	4
yu	i	i	yao	ying	wang	yü	yüan	yü	yüan	wei	yieh	yüan	yu	yü	yen	ying	yang

33	37	37	37	11	37	17	37	37
亦	猷	遊	右	豫	猶	逸	輜	有
	yu	yu	yu	yu	yu	yir	yio	
								ihu
								ihu
yig								
入昔、羊	同上	平尤、以	上有、云	去御、羊	平尤、以	入質、夷	上有、與	上有、云
益切		周切	九切	洳切	周切	質切	久切	九切
4	4	4	3	4	4	4	4	3
i	yu	yu	yu	yü	yu	i	yu	yu

以上によりて見れば、大體三等字はu又はwを四等字はyを頭音としてゐる。

舌齒音

(1)來母(1)に屬する文字

4	1	轉
離	六	
ii		千字文
		金剛經
ius		阿彌陀經
平支、呂	入屋、力	反切
支切	竹切	
3	3	等位
i	iu	現代音

35	42	38	25	13	25	40	1	39	37	31	27	24	13	13	12	11	6
聆 (靈)	凌	林	寥	隸 (麗)	勞	藍 (籃)	祿	廉	樓	落	羅	亂	禮	來	路	慮	利
lye	lin	li(ɿ)m(?)		lei	lau	lam	log	lem	leu	lag	la				lo	lu	
											la	luan	le	le			
											la	luan	le	le			li
平青、 耶	平蒸、 力	平侵、 力	平蕭、 落	去霄、 耶	平豪、 魯	平談、 魯	入屋、 盧	平鹽、 力	平侯、 洛	入鐸、 盧	平歌、 魯	去換、 郎	上齊、 盧	平哈、 落	去暮、 洛	去御、 良	去至、 力
丁	膺	尋	蕭	計	刀	甘	谷	楨	侯	各	歌	段	啓	哀	故	倨	至
切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切	切
4	3	3	4	4	1	1	1	3	1	1	1	1	4	1	1	3	3
ling	ling	lin	liao	li	lao	lan	lu	lien	lou	lao, la, lo	lo	luan	li	lai	lu	lu	li

(2) 日母(zh)に屬する文字

轉	千字文	金剛經	阿彌陀經	反	切	等位	現代音
1 肉		zhu		入屋、如	六切	3	jou
4 爾		ze		上紙、兒	氏切	3	erh
6 二		ze	zi	去至、而	至切	3	erh
8 而		ze	zi zu	平之、如	之切	3	erh
11 如		ze zi	zi	平魚、人	諸切	3	ji
11 汝		ze	zi zu	上語、人	諸切	3	ju
17 人		zin	zin	平眞、如	鄰切	3	jen
23 然		zen		平仙、如	延切	3	jan

18 論	lon			平魂、盧	魂切	1	lan
5 累	lu			去眞、頁	僞切	3	lei
23 釐	lyan			上欄、力	展切	3	lien
31 兩	lyo			上養、頁	非切	3	liang
31 糧(頁)	lyo			上養、呂	張切	3	liang
31 樂	lyo		lag	入鐸、盧	各切	1	lo

31	8	6	4	29
弱	耳	二	兒	若
shag	shi	shi	shi	
				zag
				zag
入藥、而 灼切	上止、而 止切	去至、而 至切	平支、汝 移切	入藥、而 灼切
3	3	3	3	3
jo	eh	eh	eh	jo

千字文に於てはすべて清音に讀まれ、他の二種に於ては濁音に讀まれて居る。此類のものは兩様の音に地方によりて異りて發言せられたものか、或は音譯を加へた人の個人的差異によるものか、その理由は今判然せぬ。

以上は頭音についての比較であるが、大體に於てよく韻鏡と一致せるを見る。たゞ舌音と齒音との間、又齒音喉音の各字母間に於て差異あることは、前表に於て認めらるゝ通りである。

(靜安學社編東洋學叢論より轉載)